

頸部～上肢症状 整形外科テスト記録シート

神経根症の所見を先に整理し、TOSは病歴・誘発所見・他疾患除外を含めて補助的に判断します。

患者名	評価日： 年 月 日	評価者：
主訴 / 症状部位		

1．問診・安全確認

頸部の動きで症状が変わる	☐ あり ☐ なし	メモ：
上肢挙上・腕の位置で症状が変わる	☐ あり ☐ なし	メモ：
放散痛・しびれ・脱力	☐ あり ☐ なし	部位 / 質：
進行性筋力低下・歩行 / 巧緻動作低下など	☐ あり ☐ なし	所見：
外傷・全身症状・血管性病変を疑う所見	☐ あり ☐ なし	所見：

2．神経学的所見

項目	右	左	項目	右	左	メモ
筋力（主要筋）			感覚			
腱反射			疼痛 / しびれ			

3．頸椎神経根症を疑う4所見

所見	結果	症状再現 / 軽減	部位・質	条件	解除後の変化	メモ
Spurling	☐ + ☐ -					
Distraction	☐ + ☐ -					
ULTT 1	☐ + ☐ -					
患側頸部回旋ROM	°					

4所見の陽性数だけで診断を確定しません。病歴・筋力・感覚・腱反射などと合わせて解釈します。ULTT 1陰性は神経根症の可能性を下げる材料になります。

4．TOSを疑うときの補助所見

確認項目	結果	普段の症状を再現	増悪姿勢 / 条件	解除で変化	他疾患の検討	メモ
上肢挙上・反復動作との関連	☐ あり ☐ なし					
EAST（Roos）など誘発所見	☐ + ☐ -					
鎖骨上部の圧痛 / Tinelなど	☐ あり ☐ なし					
頸椎神経根症・末梢神経・肩疾患等	☐ 検討済					

EAST（Roos）などの陽性だけでTOSと判断しません。病歴、局所所見、他疾患の除外を含めて総合的に評価します。

5．再評価で固定する1～3項目

項目	初回	再評価	症状部位	症状の質	誘発 / 軽減条件	変化メモ

6．生活上の困り・次の行動

生活上の困り（1つ固定）		
評価後の判断	☐ 経過観察 ☐ 追加評価 ☐ 医師へ相談 ☐ 他部位 / 末梢要因を評価 ☐ その他：	
次回再評価日	年 月 日	備考：

使用上の注意：本シートは診断を確定するものではなく、頸部～上肢症状の評価条件と再評価をそろえるための記録用紙です。進行性神経症状、脊髄障害、外傷、血管性病変などが疑われる場合は、特殊テストより医学的評価を優先してください。
参考：Wainner RS, et al. Spine. 2003;28:52-62. / Rubinstein SM, et al. Eur Spine J. 2007;16:307-319. / Chim H, Hagan RR; INTOS Workgroup. PRS Global Open. 2024;12:e6107. / Grondin F, et al. Braz J Phys Ther. 2026;30:101581.